



新年度最初の「便り」を、感謝を込めてパンフレット（活動報告書）とともにお届けいたします。

● 設立してまる7年が経過、感謝の日々でした

平成28年3月に設立して早7年が経過しました。思えばこの間、どれだけ多くの皆様から温かいご支援をいただいたのでしょうか。あの方から、あの方からもと次々に思い出されます。そして多くの素晴らしい人たちとの出会いがありました。優秀で献身的なボランティアさんにも恵まれました。毎年のように、新規の事業を立ち上げ、現在どの事業も高い評価をいただけるのはこのボランティアさんのおかげです。何度もテレビや新聞で活動を紹介してくださいました。そのおかげで、支援してくださる人と支援を求めてこられる人が大幅に増えました。全国に例がないほど、県内にフードバンクが多数設立され、利用する人も県内で7,000世帯（その多くが母子世帯です）を超えるようになりました。これまであまりに幸運でした。天地が味方し、応援してくださっているとしか思えません。まさに感謝感謝の、そして楽しい日々を過ごさせていただいております。今年度も新たな気持ちで一生懸命に取り組んでまいります。



● 赤い羽根、新テーマ型募金ほぼ目標達成

今年も1月から3か月間実施いたしました、新潟県共同募金会の「にいがた・新テーマ型募金」に多数応募いただき、ほぼ目標の300万円を達成することができました。

今回のテーマは、長引くコロナ禍や物価高騰で支援を求めてくる人が増えており、緊急対策としての支援をお願いしたもので、多くの皆様からのご賛同をいただくことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

● 配布する食品が不足、やむなく購入しています

フードバンクは、個人や企業などから食品を寄付していただき、それを困窮世帯に届ける活動です。「フードバンクしばた」では、年々食品を寄付して下さる人が増えていますが、それ以上に食糧支援を求める人が増え、いただいた食品だけでは不足、2年前からお米も含め、購入して対応しております。

長引くコロナ禍や物価高騰で支援を求めてくる人が全国的に増え、政府の関係機関でも助成金を出すようになり、「フードバンクしばた」でも助成を受けて一部購入して配布しております。

● 家庭菜園、農家の規格外の野菜、缶詰1個でもご寄付を

家庭菜園で余った野菜や農家の規格外の野菜は新鮮で喜んでいただいております。野菜は高く、十分には買えない人がたくさんおられます。まだまだ多くが捨てられているとも聞いております。新鮮さが勝負の野菜も、ボランティアさんがすぐに届けてくださいます。出来れば、金曜日と土曜日、あるいは日曜日の朝にいただけるとありがたいです。土日の配布が多いからです。

缶詰やレトルト、乾物など少なくても大歓迎です。会社、団体等で社員の皆様などから集めて届けてくださる企業も徐々に増えております。

寄付金、会費もお願いいたします。



● 相談所兼居場所開設のため、無料の空き家を探しています

「誰かに話を聞いてもらいたい」、「一人でいると寂しくて仕方ない」、子どもから大人まで生きていければそんな時は必ずあります。そんなときのため、居場所となるような相談所の開設を考えております。現在急遽相談所となる、無料（固定資産税相当はお支払いできません）で貸していただけるような空き家を探しております。できれば、本町、諏訪町、緑町、東新町など事務所周辺ですとありがたい。

また、貧困母子世帯に低家賃で貸していただける空き家もさがしております。一部の部屋だけでも結構です。心当たりがありましたらご一報ください。

● 制服のリサイクルのボランティア責任者を紹介

年度末となり、制服の依頼は落ち着くと思ったら、春休み一杯続きました。また、卒業式後まもなく制服を寄付してくださる人もたくさんおられました。この活動が年々周知されてきたことだ嬉しく思っております。

多くの皆様から「本当に助かりました」とお礼の言葉をかけていただき、ボランティアをしている喜びを繰り返し感じております。

【伊藤 敏江】



フードバンクしばた

〒957-0054 新発田市本町3-3-3

TEL：0254-20-8666 / FAX：0254-28-7666

携帯：090-3047-8732（土田）

URL：<https://foodbank-shibata.org/>

